

令和 4 年度 文化財係事業方針（案）

文化財の所有者及び保存団体と協力し、文化財の保存継承及び活用に向けて事業を進めていきます。また、市内の文化財について広く市民に周知を図っていきます。

国指定史跡「長久手古戦場」については、史跡長久手古戦場保存活用計画に基づき、再整備を行っていきます。

主要事業

古戦場公園再整備事業

- 1 国指定史跡「長久手古戦場」及び「小牧・長久手の戦い」について説明するガイダンス施設の展示実施設計を行います。
- 2 古戦場公園にある築山を国の史跡指定当時の野戦場の雰囲気を感じさせる「地形、眺望」を確保するために造成工事を行い、公園再整備にはイベントで活用できるように芝生広場とします。（別紙 4）
- 3 古戦場公園利用者の安全が危ぶまれる枯木、史跡地の通景を阻害している樹木及び古戦場の景観としてふさわしくない園芸種・外来種の樹木伐採を行います。（別紙 4）
- 4 岩作石田地内にある市内最古に属する古民家を、長久手のくらしや歴史文化を後世に伝える歴史民俗体験施設の主屋として整備するための設計業務を行います。
- 5 主屋の設計と併せて、歴史民俗体験施設を構成する納屋及び収蔵庫の設計業務を行います。

令和4年度 文化財係事業計画

1 文化財事業

文化財は、地域の歴史や文化の成り立ちを理解するため市民が共有する貴重な歴史的遺産です。そのため、文化財を保護、保存及び継承し、確実に後世に伝えていくことが重要です。

市民の文化財保護意識を高め、市内外へ「長久手古戦場」をアピールするために、「長久手古戦場桜まつり」や「色金山茶会」の開催など事業を展開します。また、「長久手合戦史跡めぐり」、「文化財マップ」などのパンフレット類や市ホームページを活用した周知・広報に努めます。

市が洞地区共生ステーション内では、「ほとぎのさと」に関する展示スペース内の展示物の入替えをすることで、文化財が身近な存在として周知されるよう努めます。

国指定史跡の「長久手古戦場」に限らず、市内には埋蔵文化財をはじめとして、多くの文化財が存在しています。今後も、これらが後世に引き継がれるよう、文化財の大切さを多くの人に伝え、理解を促進し保存へと繋げていくために適切な活用を行っていきます。

(1) 令和4年長久手古戦場桜まつり

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年長久手古戦場桜まつりの中止を決定しました。

(2) 文化財保護事業

ア 長久手市文化財保護審議会 随時開催

イ 史跡整備事業

(ア) 古戦場公園史跡等維持管理工事

国史跡長久手古戦場始め9箇所の除草、剪定、草刈り等

(イ) 指定史跡地清掃業務委託

古戦場公園、武蔵塚、首塚、長久手城趾、木下勘解由塚、神明社第2号墳、三ヶ峯第3号窯

ウ 文化財保存事業

(ア) 指定文化財保存修復事業補助金

市指定文化財の保護、修繕等に補助金を交付

1事業の限度額500,000円

(イ) 警固祭り補助金

1地区2,000,000円

(ウ) 前熊古典芸能保存会（前熊太鼓打ち囃子）

69,000円

(エ) 前熊の山車保存会（前熊山車曳き回し）

31,000円

(オ) 左義長報償金

伝統的民俗行事の奨励 1地区10,000円

エ 緊急発掘調査委託

遺跡の範囲確認調査委託 随時

遺跡の試掘調査委託 随時

2 長久手古戦場野外活動施設事業

(1) 長久手古戦場野外活動施設運営委員会

施設の利用促進、適切な維持管理、収蔵品の分類・整理などの運営等についての協議
運営委員会：年2回予定

(2) 郷土資料室

来場者に対して、一般社団法人長久手市観光交流協会が観光交流施設及び行事等の案内を実施する。

開室日：火曜日～日曜日

開室時間：9:00～17:00(入室は16:30まで)

常設展示：1階 長久手の戦い展示パネル・火縄銃など
2階 武具、棒の手や警固祭りなどの民俗資料

(3) 和弓場

利用日：火曜日～日曜日

利用時間：9:00～17:00(事前申込があれば21:00まで(日曜・祝日を除く))

3 色金山歴史公園茶室管理棟等運営事業

(1) 空調取換工事

立礼席の空調が経年劣化により、故障が続いており、6月下旬から7月上旬にかけて取替工事を行う。
そのため、工事期間中は色金山歴史公園茶室を一時閉館します。

(2) 色金山茶会

日時：10月30日(日) 10:00～15:00

場所：色金山歴史公園

内容：文化協会茶道部による茶会

(3) 色金山歴史公園樹木伐採工事

民家に隣接した東側斜面の樹木伐採、剪定、草刈り等を実施します。

(4) 史跡地眺望樹木伐採工事

古戦場公園エリアと御旗山方面の眺望を回復・維持するための樹木伐採を行います。

3 古戦場公園再整備事業

(1) 古戦場公園再整備事業

ア 平成30年度に行った展示基本設計を基に、ガイダンス施設の展示実施設計を行います。

イ 現状の築山を平らにして、造成する工事を行います。

ウ 史跡長久手古戦場保存活用計画に基づき、古戦場公園内の枯木や園芸種を伐採します。

(2) 歴史民俗体験施設事業

ア 市内に現存する最古に属する古民家を、長久手のくらしや歴史文化を後世に伝える歴史民俗体験施設の主屋として移築して、整備します。歴史民俗体験施設は、主屋、収蔵庫、納屋、体験施設・トイレから構成され、昔の生活で使用されていた農機具等の民具の展示及び体験活動を通じて、昔の長久手の生活やくらしの変化が学べる施設とします。

イ 令和4年度は、歴史民俗体験施設の主屋・収蔵庫・納屋の設計を行います。

ウ 古民家の移築は市民の力を活かして、取り組んでいき、その後の歴史民俗体験施設での体験活動の中心になっていくよう考えています。

(3) 長久手合戦図屏風の模写制作過程パネル展開催

ガイダンス施設に展示するため、令和3年11月から愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学に委託し、公益財団法人徳川黎明会徳川美術館所蔵の長久手合戦図屏風の復元模写を進めています。令和4年度に復元模写の制作過程のパネル展示を行います。

期間：令和4年秋頃

場所：リニモテラス公益施設 大廊下



樹木伐採対象箇所

仏が根

勝入塚

築山造成工事箇所

長久手古戦場野外活動施設

長久手市郷土資料室

古戦場公園

長久手
土地区

武蔵塚

庄九郎塚

(造成中)

